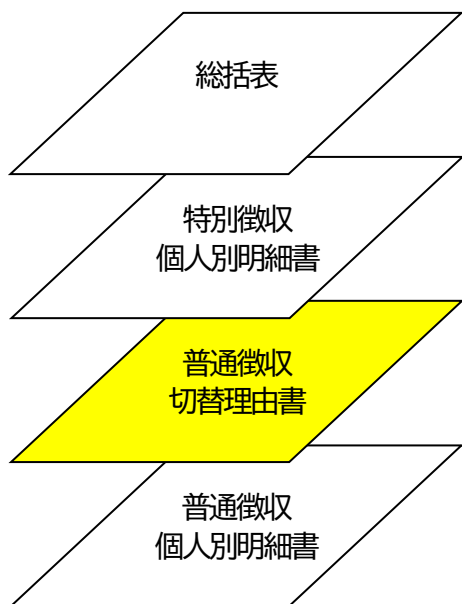


普通徴収 切替理由書について

特別徴収ができず普通徴収とする方がいる場合、「普通徴収 切替理由書」の添付が必要です。以下＜給与支払報告書の重ね方＞、【記載・提出時の留意点】、＜個人別明細書の書き方＞を参照してください。

＜給与支払報告書の重ね方＞



【記載・提出時の留意点】

- ① 「普通徴収 切替理由書」は、普通徴収対象者の給与支払報告書(個人別明細書)の上に付けて提出してください。特別徴収のみの場合は不要です。※左図参照
- ② 左図のように重ねた後、ホチキスは使用せず、クリップ又は輪ゴムで留め提出してください。
- ③ 総括表の普通徴収の人数と「普通徴収 切替理由書」の合計人数が一致しているかご確認ください。
- ④ 普A～普Dの4項目は特別徴収の例外になります。これら以外の理由による普通徴収の希望は認められません。個人別明細書の摘要欄に略号を記載してください。

切り取り線

＜個人別明細書の書き方＞

(摘要)

普D 令和7年3月31日 退職予定

- ・該当する略号を摘要欄に記載してください。
- ・退職予定者は退職予定日も記載してください。

未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	乙 欄	本人が障害者		寡 婦	ひ と り 親	勤 労 学 生	中途就・退職	受給者生年月日				
					特 別	そ の 他					就職退職年 月 日	元号	年	月	日
											昭和	38	4	1	

該当する方には乙欄、退職日を記載してください。

普通徴収 切替理由書

指定番号

名取市長 あて

事業所名

普通徴収として取り扱うべき給与受給者の人数と切替理由ごとの内訳は下記のとおりです。

略号	切替理由(下記4項目以外の理由は不可)	人数
普A	他の事業所で特別徴収 として扱う乙欄該当者	人
普B	給与が少なく税額が引ききれない	人
普C	給与の支払期間が不定期(例:給与の支払が毎月ではない)	人
普D	退職者・退職予定者(5月末日まで)・休職者	人
普通徴収合計人数 ※総括表の普通徴収の合計人数と一致します。		人

(注意)

普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に必ず略号(普A・普B等)を記載してください。

ただし、乙欄該当者と退職者(予定者含む)は所定の欄にその旨の記載があれば省略可能です。記載がない場合は特別徴収となります。ご了承ください。